



ヒバゴンの出没を巡る

ヒバゴン 50周年記念オンラインツアー・2/6～

西城町観光協会は、1970年代に日本中を騒がせた「ヒバゴン」の目撃地点などを巡るオンラインツアーを、動画投稿サイト「YouTube」で配信しています。

この試みは、昨年計画されていた目撃50周年記念のツアーなどが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったことから、他の方法で西城町の魅力を発信し観光促進につなげようと企画されました。

動画では、旧西城町で類人猿相談係にも所属していた恵木剋行さんがガイドを務め、当時の目撃情報をもとに町内を巡る様子や、比婆山の景色、熊野神社本殿での西城町神楽愛好会による神楽の披露など、さまざまな西城の魅力を取り上げています。



▲目撃地点を解説する恵木さん

一足早い春を感じて

押し花作品展・1/30～

庄原市交通交流施設(備後庄原駅舎)の地域交流室で、押し花同好会による作品展が行われました。

この作品展は、里山で摘んだ色鮮やかな花を押し花にして観賞用に制作されたもので、主催者の栗栖美恵子さんは「コロナ禍で不安な思いをしている皆さんに、少しでも和んでもらえたらうれしい」と展示への思いを語りました。

JRやバスを待つ合間に作品展に立ち寄った方は「どの作品も個性があり、とてもきれい」と話しました。

備後庄原駅舎では、地域交流室(会議室、多目的スペース)の貸館を行っています。ぜひご利用ください。



▲押し花作品を楽しむ様子

移住・定住の推進に向けて

「移住の手引き」を作成

〇和自治振興区は、〇和地域の素晴らしさや魅力を紹介する移住定住推進事業の取り組みに力を入れています。

この活動を推進するため、〇和地域での暮らしや役立つ情報をまとめた「移住の手引き」が作成されました。今後、移住や定住を検討している方に提供されます。

本事業を担当する同自治振興区の移住定住地域マネージャー松本晋太さんは「この手引きを通じて、一人でも多くの方が田舎への移住の一步を踏み出してくれることを楽しみにしています。今後も〇和地域に住んでよかったと言われる町づくりを目指して頑張りたい」と話しました。



▲完成した手引きと自治振興区の皆さん

地域でつくる里山産品

「ひわそば茶」づくり・2/12

比和自治振興区地域マネージャーと地域の人々が、「比和そば」を使ったそば茶づくりを行いました。

比和自治振興区は、地域マネージャーが中心となりSDGsの理念(持続可能な開発目標)を取り入れた「持続可能な地域づくり」を目指して、町内で収穫されたそばの実を使った里山産品づくりに取り組んでいます。その取り組みの一つが「ひわそば茶」です。

参加者は、丁寧にそばを焙煎し、「ひわそば茶」のラベルが貼られた袋に詰めていきました。香ばしいそばの香りが広がる中、参加者は「コロナ禍が早く収束してイベントなどの開催が増えたら、もっと多くの人にひわそば茶の風味を楽しんでもらいたい」と話しました。



▲焙煎機でそばの実を焙煎する参加者